

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢や障害（個人的な生きづらさ）を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業
事業主体 (連絡先)	南信州おでかけチーム“ウィズ” 0265-49-3171 (村松)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	979,000 円 (うち支援金：783,000 円)

事業内容

- ◆プロモーション動画の制作
要介護高齢者や障がい者を対象にした「新たな外出支援」の動画を撮影・編集し5本作成。YouTubeに投稿し、情報発信を行った。今後は関連団体などのHPなどにも掲載を依頼し、活動の普及をはかっていく。
- ◆チーム冊子（広報誌）の作成
サポートや補助器具の活用による「新たな外出支援」の活動を地域へ普及させることを目的に、チーム冊子を作成。カラー8ページ、500部印刷。域内の介護事業者やリハビリ科のある病院、市町村福祉課などに配布。
- ◆介護従事者を対象とした教育用テキストの作成
介護従事者やリハビリ関係者などを対象にした教育用テキストを作成。「要介護高齢者や障がい者の外出や旅行をサポートする人材育成研修」を実施。5名の参加があり、作成したテキストを座学や実地研修に役立てた。また、前年度に本事業で購入したけん引式車いす補助装置も実地研修に活用した。

事業効果

- ① 当地域においてほとんど活動が見られなかったユニバーサルツーリズムにおいて基礎情報を広報誌や動画を通じて情報発信することができた。
- ② 本事業の活用により、情報発信が可能となり、長野県観光部主催のユニバーサルツーリズムセミナーや、全国で総合福祉サービスを手掛ける企業のセミナーでの事例発表や、旅行会社を招いてのファミツアー受入れを行う機会をいただくことができた。
- ③ 教育用テキスト作成により「要介護高齢者や障がい者の外出や旅行をサポートする人材育成研修」を実施することができ、チーム以外にサポーターや仲間を作ることが可能となった。

今後の取り組み

長野県観光部の掲げるビジョンに「ユニバーサルツーリズムで信州から世界を変える！」という言葉がある。ユニバーサルツーリズムやインフォーマルサービスの推進は要介護高齢者や障害当事者やその家族・関係者に向けた意義や取組だけに留まらず、受け入れる地域が変わっていくということである。高齢や病気・障害を理由に「これが最後の旅行かもしれない」という思いで旅行に出かける方々を受け入れるうえで地域住民や多様な関係者との関りは欠かせない。今後は、観光・福祉・介護・教育・インフラ（交通・公的施設）・商工業などの垣根を越えて多様な関係性を築き上げることにより、高齢や障害の有無に関係なく、誰もが気兼ねなく楽しめる地域を目指す。またその結果として、新たなきっかけ・機会、ビジネスや支援の創出を目指していく。障害当事者や歩行弱者・旅行弱者の協力も得ながら、モニターツアーやイベントも開催し、様々な事例を経験することによる知見を得ながら、活動の領域や裾野を広げて行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【教育用テキストを活用した人材育成研修】

【目標・ねらい】

- ① 当地域インフォーマルにおけるインフォーマルサービスやユニバーサルツーリズムの機運の醸成
- ② 年齢や障害の有無に関係なく誰もが楽しめる地域の創造
- ③ 自組織のみでは叶わない取組を多様な関係者と連携して行う仕組みづくり

※自己評価【B】

理由】本事業の活用により、情報発信が可能となり、長野県観光部主催のユニバーサルツーリズムセミナーや、全国で総合福祉サービスを手掛ける企業のセミナーでの事例発表や、旅行会社を招いてのファミツアー受入れを行う機会をいただくことができた。新型コロナウイルスの影響で活動が一部実施できなかった。